

モニタリングチェックシート（平成26年度）

<評価>

優：特記すべき実績・成果が認められるもの

良：管理運営が良好と認められるもの

要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

施設名	貫井福祉工房
指定管理者名	社会福祉法人 東京都知的障害者育成会
評価者	障害者施策推進課長

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 効率的運営・効率化への取り組み <ul style="list-style-type: none"> 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 計画的な予算執行であるか 管理業務費の経理および実費負担金等については、適正な処理を行っているか(チェックリストの活用) 帳簿等を整備して、管理業務費の執行状況等を記録しているか 収納した金銭等の取扱いについて、管理体制を構築しているか 利用者の利用状況は安定しているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 基本協定や事業計画書に基づく事業運営がなされている。 計画的な予算執行、会計処理帳簿の整理等が行われている。 利用者の利用状況は安定している。
2 施設管理運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 物品購入および再委託の際に、区内業者の活用に努めているか 設備・備品の保守点検等管理を適切に行っているか 練馬区環境メンテナンスシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 職員配置は協定を遵守しているか 職員について区内雇用の促進を図っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 物品購入等における区内業者の活用に努めている。 設備・備品の保守点検等の管理を適切に行っている。 職員配置は協定を遵守し、適正な運営体制を整えている。
3 サービスの維持・向上に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取り組みを行っているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 地域との連携を図って事業を実施しているか 人権について職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 	優	<ul style="list-style-type: none"> 支援マニュアルを新たに作成、文書化することで、工房内の支援方法の統一を図るとともに、支援力の向上に努めている。 練馬区役所内、我夢舎楽での店頭販売の機会を増やすなど、就労準備訓練の場の拡大を図った。 職員が、各自の個別研修計画を立て、実践、報告し、上司からの講評を受ける方法を導入したことで、一人ひとりが主体的に取り組める人材育成に努めた。
4 法令遵守等 <ul style="list-style-type: none"> 職員の採用選考および勤務条件について、関係法令を順守しているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 練馬区情報セキュリティポリシーに定める水準と同等もしくはそれ以上の水準を保障する対策を講じているか 個人情報保護条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか(チェックリスト、マニュアル等の活用) 情報公開条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 職員の採用選考等について、関係法令を遵守している。 緊急時等のマニュアルを整備し、必要な訓練等を実施している。 情報セキュリティポリシーおよび対策マニュアル等を定め、研修や職員会議を通じて周知徹底に努めている。 個人情報保護、情報公開等の規程を設け、チェックリスト等を活用し、適正な取扱いを行っている。
5 利用者評価等 <ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートや第三者評価の結果は良好か 運営協議会等の評価は良好か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 東京都の福祉サービス第三者評価および運営協議会の評価は良好である。
総合評価 <p>(講評)</p>	良	<ul style="list-style-type: none"> 項目全般について、区が求める水準を満たしている。 職員間における支援方法の統一を図るとともに、一人ひとりが主体的に支援に関わることができるよう、新たな取組みを導入している。 自主生産品の店頭販売を増やすなど、より多くの利用者が就労準備訓練に取り組める機会を提供している。